



SCB

ニュース&トピックス

No.2024-83

(2024.10.23)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

研究員 西 俊樹

03-5202-7671

s1000790@FacetoFace.ne.jp

データで読み解くこれからの信用金庫経営 (25) 2024年度上期の貸出金動向

—2024年9月末の貸出金残高は過去最高の80.9兆円となる—

ポイント

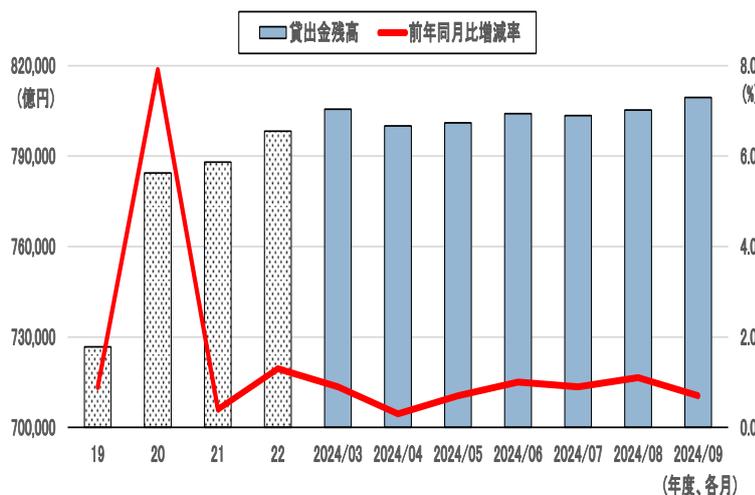
- 2024年9月末の信用金庫の貸出金残高の合計は、過去最高の80.9兆円、前年同月比増減率は0.7%増となった。
- 業態別の増減率では、信用金庫は他業態を下回る水準が続いている。貸出先別の増減率では、貸出金の大半を占める企業向け貸出の伸びが低調である。
- 地区別の増減率では、2024年9月末は東京地区が減少となったが、他地区では増加した。信用金庫別の増減率では、各期で0.0%以下となる信用金庫が最多となっている。

1. 2024年度上期の貸出金動向

2024年度上期の信用金庫の貸出金動向を確認する(図表1)。

2024年9月末の全国254金庫の貸出金残高の合計は、過去最高の80.9兆円、前年同月比増減率は0.7%増となった。2024年4月末は同0.3%増と低下したが、その後、増減率は8月末まで緩やかに上昇し、9月末はやや低下となった。

(図表1) 2024年度上期の貸出金動向



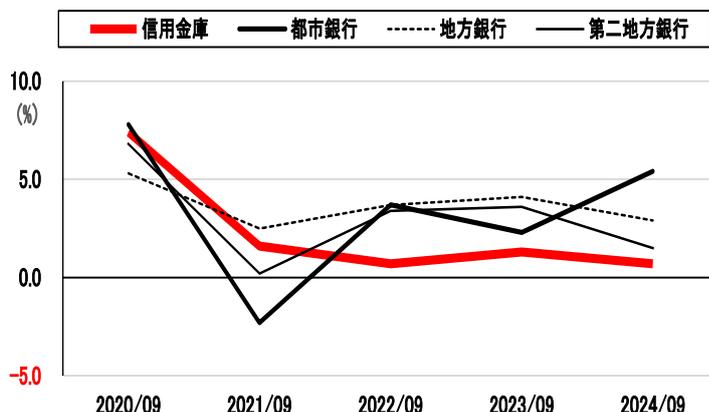
(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 業態別の状況

業態別に前年同月比増減率の推移を示す(図表2)。

2022年9月以降の推移をみると、信用金庫の増減率は、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合を下回る水準が続いている。

(図表2) 業態別の状況



(備考) 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

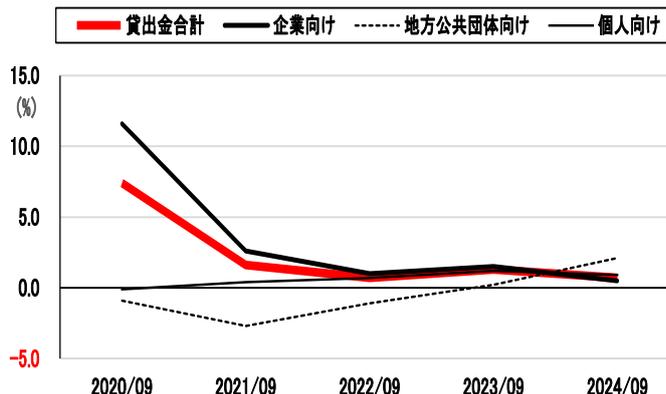
2. 他業態は全国銀行協会「全国銀行預金・貸出金速報」より作成

3. 貸出先別の状況

貸出先別に前年同月比増減率の推移を示す(図表3)。

直近の状況では、地方公共団体向け貸出の増加が目立っている。一方、貸出金の大半を占める企業向け貸出の伸びが低調であるため、貸出金合計の増減率の上昇に至っていないものと思料される。

(図表3) 貸出先別の状況



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

4. 地区別の状況

地区別に前年同月比増減率でみると、2024年9月末は東京地区が減少となったが、他の地区では増加した(図表4)。

増加が最大となったのは東海地区で1.6%増となり、関東地区、四国地区、九州北部地区がこれに続いている。

(図表4) 地区別の状況

(単位: 億円、%)

地区	貸出金残高	前年同月比増減率	
		2023.9	2024.9
北海道	35,101	1.2	0.5
東北	27,394	1.8	0.9
東京	156,130	0.6	-0.2
関東	149,688	2.2	1.4
北陸	17,546	-0.1	1.1
東海	166,647	1.5	1.6
近畿	175,114	0.9	0.1
中国	35,222	1.0	0.6
四国	12,585	3.1	1.3
九州北部	15,114	3.6	1.3
南九州	17,160	0.9	0.1
全国	809,442	1.3	0.7

(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

5. 信用金庫別の状況

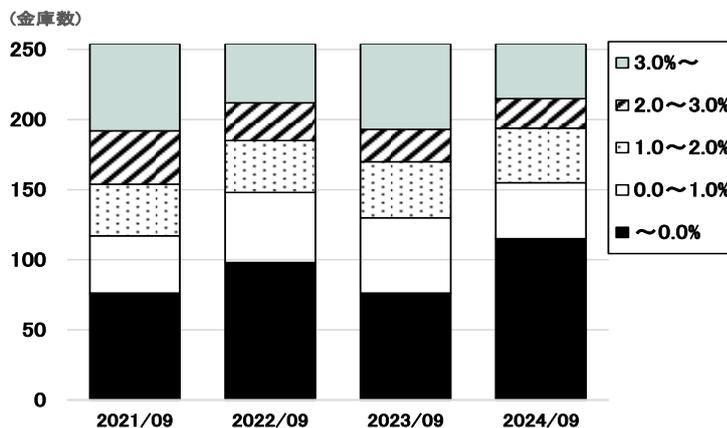
信用金庫別にコロナ禍以降の上期末における前年同月比増減率を示す(図表5)。

各期で、0.0%以下となる信用金庫が最多となっており、多くの信用金庫において貸出金増加が難しい状況が窺える。

最近の信用金庫における貸出金残高は、前年同月比増減率1.0%前後で推移している。また、地方公共団体向け貸出の伸びがみられるものの、貸出金の大半を占める企業向け貸出の伸びが低調な状況が続いている。

今後、貸出金利が上昇する場合、貸出金の増加をいかに図っていくかが課題となる。

(図表5) 信用金庫別の状況



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

※信用金庫業界の各種データは、信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページの「信用金庫統計」(<https://www.scbri.jp/publication/toukei/>)に掲載されています。併せて、ご活用ください。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。